



くらと 肥後民家村

観

光の楽しみのひとつに、
その地域ならではの体
験や特産品などがあり
ます。また、出会う「人」
も、そのひとつではないでしょうか。

肥後民家村をはじめ江田船山古墳、
トングカラリンのガイドをされている和
水町観光案内の会。現在、会員数は十二
名で、その代表の江上隼人さんは、平成
十五年から観光ガイドをされています。

訪れる観光客の人に自分で作成し
た手作りの資料を交え、観光客に
問い合わせ、語り合いながら、地元の
方言で案内をされます。年中、素足
に草履を履いて案内されることか
ら、いつしか「素足の案内人」として
親しまれるようになりました。江上
さんにお話を伺いました。

「最初の頃は、標準語でガイド
をしていましたが、いつの間にか普

段の口調で方言交じりになり、今
では、方言のみでガイドをしていま
す。訪れた観光客の人からは、その
方言を聞いて、旅をしたという気持
ちになります、と言わされたことがあります」

ガイドコースのひとつである肥
後民家村の魅力を尋ねてみました。
「何といっても『わら屋根』です。

ガイドコースのひとつである肥
後民家村の魅力を尋ねてみました。
「何といっても『わら屋根』です。



▲笑顔で見送る江上さん



▲方言のみのガイドは観光客から好評です



▲熊本県観光連盟
観光功労者賞を受賞

代表 江上 隼人さん
和水町観光案内の会



▲江上さんの案内で観光を楽しむ人達



▲和水町観光案内の会のみなさん

今では、死語となつた「わら屋根」
『土間』『囲炉裏』などが肥後民家
村の中にはたくさん残っています。
また、自然がいっぱいあります。肥
後民家村から菊池川の白石堰を眺
めると、白鷺が一本足で立っている
姿を見ることがあります。木々から
は、季節の移り変わりを感じ、昔か
ら人が持つている自然へのあこがれ
と郷愁を感じることができます」

いよいよ来年の三月には九州新
幹線が全線開業します。

「関西方面に和水町をPRする絶
好のチャンスであり、最後のチャン
スかもしれません。みなさんが、肥
後民家村や古墳等、町にある観光
資源に関心を持つて欲しいと思って
います。そして、人に誇っていいもの
をみなさんが見つけて欲しいと思
います」

ただ訪れただけでは知ることの
できない、その地の歴史や文化を方
イドの案内を通じて知ることがで
ます」

きます。観光客の人も、話を聞いて
その地に愛着を持ち、また訪れたい
と思うものではないでしょうか。

観光案内の会は、毎月一回、第三
火曜日の午前十時から旧布施家住
宅で勉強会を開かれています。興味
をお持ちの人は、まずは、気軽に参
加されてみてはいかがでしょうか?

ガイドの申し込み(要予約)

○モデルコース

- モデルコース
肥後古代の森ツアーアー(江田船山古墳→旧布施家住宅→歴史民俗資料館)
- 料金 1時間まで1,500円 ※1時間増すごとに1,000円加算
- 問い合わせ・申し込み先 和水町役場 本庁経済課観光係 内線553